

地域の復興と持続的な発展に向け、事業性評価を促進し、企業のライフステージに応じた多様なソリューションを提供しています。

M E N U

□ 商談会などを通じた販路開拓・拡大支援

- ・宮城県と連携した「食材王国みやぎビジネス商談会」の開催など、お取引先の販路開拓・拡大支援に取り組んでいます。

□ 海外ビジネス支援

- ・お取引先の海外進出や海外への販路開拓・拡大、各種貿易取引ニーズに対し、海外派遣行員や海外の提携金融機関等、当行の海外ネットワークを活用した支援を行っています。

□ 進出企業支援、進出企業への地元企業参入支援

- ・他地域からの進出企業には、地方公共団体と連携して助成金や各種制度の活用提案などを実施しています。また、地元企業との商談機会の提供による参入支援など、ものづくり産業の集積促進に取り組んでいます。

□ 農林水産業の成長産業化

- ・農業の6次産業化、林業における木質バイオマス燃料の安定供給、CLTの普及促進、水産加工品のブランド化の支援などを実施しています。

□ 産学連携による支援

- ・地域産業の振興や地域事業者の経営課題の解決に向けて、東北大学や宮城大学などと連携・協力した取組みを実施しています。

□ 経営改善・事業再生

- ・外部支援機関と連携し、専門的な知見を活用した経営改善計画の策定支援、履行段階における助言など、お取引先の事業再生支援を実施しています。

□ 事業承継・M&A

- ・地域経済を支える中小企業経営者の高齢化や後継者不在等の問題に対応するため、円滑なサポートを実施しています。

● 事業性評価の促進

地域の経済・産業の現状および課題を適切に認識・分析するとともに、様々なライフステージにある取引先の事業内容や成長可能性などを適切に評価し、円滑な資金供給や課題解決策の提案を行う事業性評価に、積極的に取り組んでいます。



● 商談会などを通じた販路開拓・拡大支援

宮城県と連携した「食材王国みやぎビジネス商談会」、宮城・山形両県と連携した「おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会」の開催のほか、全国規模で開催される「地方銀行フードセレクション」などに参加し、お取引先の販路開拓・拡大支援に取り組んでいます。

七十七銀行

企画・運営
・商談機会の提供
・パイヤー招聘 等

<事業性評価>
経営課題の共有
市場・競争環境分析
長期的ビジョン

お取引先

出展

課題解決策
提案・実行

「食材王国みやぎビジネス商談会」の様子



当行担当者が当日の展示会・個別商談会を全面サポート

● 「宮城の企業発見プログラム」の開催

地域の企業ならびに大学等と連携し、宮城県内の学生が地域企業へ就職する比率を高めることを目的に、地域企業の事業概要や業務内容等を学生に対して紹介する「宮城の企業発見プログラム」を開催しました。

本プログラムには、宮城県内14大学等の1・2年生約200名が参加し、共催企業が開催するグループワーク等を通じて、働く場所としての魅力について理解を深めました。（2017年度共催企業：アイリスオーヤマ㈱、㈱河北新報社、カメイ㈱、㈱高速、㈱仙台銀行、東北電力㈱、㈱バイタルネット、㈱ユアテック）



● 「生産性向上に向けた補助金等活用セミナー」の開催

地元企業の成長支援を目的に、国および宮城県の支援施策の活用を促進するため、東北経済産業局、宮城労働局、宮城県と連携し「生産性向上に向けた補助金等活用セミナー」を開催しました。

本セミナーでは、国および宮城県の生産性向上に向けた主な支援施策や補助金等の活用方法に関する説明および個別相談を行いました。



● 「七十七リサーチ&コンサルティング株式会社」の設立

当行グループ一体となった総合金融サービスの提供を通じて、地域社会・経済の発展に一層の貢献を果たすため、地域経済や産業動向等に関する専門性の高い調査研究と、お取引先の課題解決に向けた実効性のあるコンサルティングサービスの提供等を行う子会社として、「七十七リサーチ&コンサルティング株式会社（略称：77R&C）」を2018年7月に設立しました。

グループの総合力を強化し、3つの主要業務を通じて、付加価値の高いサービスの提供や情報発信を行いながら、お取引先企業等の価値向上ならびに地方創生に取り組んでいます。

【77R&Cの主要業務】

調査研究業務

- ・地方公共団体等の入札情報に基づく受託調査
- ・地域経済や産業動向等に関する情報発信・提言 等

七十七銀行

連携

77R&C

地方創生
への貢献

会員組織運営

- ・有料の会員組織運営
- ・会員への地域経済・企業運営に関する情報や社員教育サービス等の提供

コンサルティング業務

- ・取引先企業の経営課題に対する分析や診断に基づく助言
- ・事業計画策定および実行支援等

●「株式会社花見台自動車」への産学連携等による課題解決支援

当社は、国内初となるスライド型積載車両「セフテローダ」を開発した架装メーカーのパイオニア企業ですが、他社メーカーの新規参入により競争が激化したため新製品の開発による競争力強化が喫緊の課題となっており、開発にあたっては社内の固定概念に捉われないデザインとユーザー側に配慮した機能性を模索していました。

当行では、当社の課題解決に向けデザインマネジメントに強みを有する宮城大学とのマッチングを行ったほか、ファイナンス面やビジネスマッチングなど販路拡大の面でも支援を継続しています。

【大学の知見を活用した課題解決支援】

株式会社花見台自動車

(福島県いわき市、1965年4月設立)

1972年

国内初のスライド型積載車両「セフテローダ」を開発



産学連携により試作品を開発
～「セフテローダ H2」～



差別化ポイント

- 機能性
 - ・作業効率向上
 - ・安全性向上
- デザイン性
 - ・コンパクトな設計
 - ・モノクロではなく、コーポレートカラーの緑色を活用

2017年11月

東京モーターショーへの出展

経営課題の共有

外部支援機関紹介
(産学連携、
人材紹介等)

ファイナンス
ビジネスマッチング

学生アイデア
の活用
共同研究
技術相談

デザインマネジメントに
強みを有する宮城大学を
選定のうえ紹介

七十七銀行

連携協定

宮城大学

ブランディング支援等を継続実施

写真出所：当社提供